



代田・九条の会 15周年記念のつどい

講演：金子勝さん「最近の憲法とめぐる動き」
合唱：九条のうた合唱団

2023.11.3

代田・九条の会 15周年 九条・平和を守る為にできることは！

今日11月3日は、憲法公布77周年です。「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることがないようにする」という憲法前文に明記されたこの決意を改めてここに刻みたいと思います。国会正門前で、総がかり行動実行委員会などが主催する憲法大行動が開かれています。

「九条の会」は、10月5日中野ゼロホールで「九条の会大集会—大軍拡反対！憲法改悪を止めよう」を開きました。（詳細は代田九条の会ニュース 179号参照）

その席で中野晃一さん（市民連合運営委員、上智大学教授）は、「2014年の解釈改憲と15年の安保法制＝戦争法で日本国憲法は反故にされてしまいました。「新しい戦前レジーム」になってしまったのです。抑止とは、相手に恐怖を与えることによって戦争を未然に防ぐという発想です。戦争を仕掛けることはしないと明確にと伝える「安心供与」が重要です。日本国憲法は戦後の平和国家を支えてきました。いまこそ憲法の本義に戻って、国民の生命、自由、幸福を守る為に立憲主義を立て直していくことが大事です。」と話されました。

代田九条の会は、全国九条の会の「日本と世界のために日本国憲法を守る」という一点で手をつなぎ、改憲の企てを阻むため、一人ひとりができるあらゆる努力を今すぐ始めることを訴える」というアピールを受けて2008年11月3日に発足し15年になります。コロナ禍で、毎月の会報を発行し、つどいを自粛してきました。昨年8月の「終戦記念日によせて」を花見堂地区会館に於いて、真藤一彦さんの尺八と話し合い、本年5月「憲法記念日によせて」を都民教会において代田九条の会・代沢九条の会・九条の会まつざわの共催で四谷姉妹の「憲法漫才&講演」を行いました。

2024年度予算案の概算要求で軍事費は、17,7兆円で過去最高、岸田首相は来年9月迄の党総裁任期中の改憲へ、1月の通常国会での改憲発議を目指しています。

首相が改憲発議の旗を振ることは、公務員の憲法尊重義務を定めた憲法99条に反するものです。NHKの世論調査（10月10日）では「憲法改正」は僅か4%で国民は、改憲を求めてはいません。2022年2月にロシアがウクライナに軍事進攻を開始し、非難決議・声明、経済制裁が相次いだものの、事態は収まっていません。これに重ねて本年10月パレスチナのガザ地区を支配する武装集団ハマスがイスラエルをミサイル攻撃し、これに対してイスラエルが「戦争状態」を宣言しました。子どもたちを含む多くの命が奪われ傷ついています。今こそ紛争解決の手段として戦争を放棄する憲法9条の精神を生かす時です。

以前「おはよう」「よい天気ですね」と挨拶するように、平和や九条の会話をしましょう」ということを聞いたことがあります、一人ひとりが、今できることから始めようではありませんか。

（代田5丁目・事務局・小澤 清子）



代田・九条の会

1月3日（祝）下北沢ナザレン教会礼拝堂において、15周年のつどいを開催しました。岩瀬薫さんの司会で、まず、事務局の小澤清子さんより、「九条・平和を守る為にできることは」と題してのお話です。これまでの代田九条の会の歩みと、2014年の解釈改憲・15年の安保法制の成立で立憲主義を立て直すことの重要性・ロシアとウクライナの戦争やハマスのミサイル攻撃とイスラエルのガザへの報復攻撃で子どもたちを含む多くの命が失われていく状況の中で、今こそ紛争解手段として戦争を放棄する憲法9条の精神を活かす時、一人ひとりが今できることから始めようではありませんかと訴えました。

続いて、ナザレン教会の牧師の坂本誠さんよりごあいさつをいただきました。キリスト教の基本は、暴力で命を奪うことではなく、敵を愛し、祈る絶対平和主義であることをお話下さいました。

そして、九条のうた合唱団による合唱です。「心に平和がある限り」「ジュゴンよまたここにおいで」の2曲と、参加者もいっしょに「青い空は」を歌いました。九条のうた合唱団は現在月1回第2土曜日にナザレン教会で平和を希求する歌を中心に練習しています。その縁でお願いしました。すてきな歌声ありがとうございました。

休憩をはさんで、『最近の九条をめぐる動き-「戦争前夜」と日本国憲法の力-。-「憲法の語り部」となろう-』と題して、立正大学名誉教授の金子勝さんに講演をしていただきました。日本国の国家が発する時代の信号は“戦争前夜”であるとして、なぜ“戦争前夜”なのかから始まりました。

昨年2月24日に始まったロシア連邦の「ウクライナ侵略戦争」は「核戦争」の危機まで含む深刻な侵略であること、今年10月7日ハマスのイスラエル領内へのロケット弾の打ち込み、戦闘員の領内への攻撃で、イスラエルのガザ地域への報復攻撃は、武力（兵士と武器）で問題を解決しようとするれば、原則として武力攻撃を生む。民衆が被害を受けることが、より明らかになった。

アメリカのバイデン政権は、中国を抑え込むため、2021年から中国が2027年に台湾に侵攻するとの仮説を立てて「2027年米中戦争」の準備を始めた。そのため「日米同盟」を結んでいる日本は米中戦争に参加する準備を始めなければならなくなった。岸田内閣はロシアのウクライナ侵略戦争を利用して、昨年12月16日、「安全保障3文書」（国家安全保障戦略・国家防衛戦略・防衛力整備計画）を閣議決定して、国民や国会に問うこともなく、独裁的方法で決めてしまった。2027年の米中戦争まで想定していたのは衝撃でした。安保3文書の全文は資料にしてあります。印象に残ったことを書きます。

「15周年記念のつどい」

1. 金子勝先生の講演について、ご感想・ご意見など

- ・力強い講演、励まされました。
- ・わかり易かった。「憲法の語り部になろう！」は、いい言葉ですね
- ・実証を踏まえての説得力のあるお話で、憲法九条の重要性を再認識しました
- ・力強い講演ありがとうございました。「自衛戦争をなくさなくては」が良くわかりました
資料をたくさんいただき、後々役立ちましょう
- ・語り部になるのは難しいが、「戦争前夜」は止めないと
昭和19年の軍事費が85.5%というのは初めて知りました。多くの犠牲を出し、兵隊さんも飢えて死んでいったのに
- ・九条の力をもっともっと身近な生活に生かしていきたいと思いました

2. 九条のうた合唱団のうたについて、ご感想・ご意見など

- ・うたごえのアドレナリンは、「埴生の宿」のように、戦争を止める武器になるかもしれない
- ・うたが平和を広げる手伝いができばうれしいです
- ・初めて合唱団の演奏を耳にし、普段の練習の賜物と感心して聴きました
- ・人数が少ないので加入してくださる方がおられましたら、期待しています
- ・平和を大切に思い、歌ってくださってありがとうございました。ピアノも素敵でした



九条のうた合唱団

15周年のつどい

日本への侵略を抑止するため、他国を弾道ミサイルで攻撃できる「敵基地攻撃能力」を「反撃能力」に言い換えたのは、基地だけでなくすべてを攻撃するため。専守防衛から攻撃防衛への戦略的変換、平和国家から侵略国家になるということ。そのための軍事費を5年間で43兆円とし、2027年度にGDP比2パーセントにする必要があるということだが、実際戦争になったらそれだけではすまない。太平洋戦争の後半数年は国家予算の70～85パーセント使われていた。

では、どうしたら戦争をなくすことができるのか。20世紀の2つの世界大戦の惨禍を反省して、「侵略戦争を違法とする国際法」が出現した。1つは、1928年フランスで調印された「不戦条約」です。第1条で締約国ハ国際紛争解決ノ為戦争二訴フルコトヲ非トシ且其ノ相互関係ニ於テ国家ノ政策ノ手段トシテノ戦争ヲ放棄スルコトヲ其ノ各自ノ人民ノ名ニ於テ厳粛ニ宣言スとある。2つめは、第2次世界大戦後1945年の「国際連合憲章」です。第2条④で「すべての加盟国は、その国際関係において、武力による威嚇又は武力の行使を、いかなる国の領土保全又は政治的独立に対するものも、また、国際連合の目的と両立しない他のいかなる方法によるものも慎まなければならない」としている。

ただ、自衛権（個別、集団とも）は認められているため自衛のための名目で戦争が行われてきました。

では21世紀はどうか。すべての戦争（自衛戦争・侵略戦争・制裁戦争）とすべての（自衛目的・侵略目的・制裁目的）武力による威嚇及び武力の行使が違法となる時代。対話による解決が普遍となる時代。「対話」による紛争解決の道が、「平和理論」の本質となる。まさに憲法九条が人類の導きの星である。世界を変える、地球を変える力をもつ、これが日本国憲法の力であり、国民は、日本国憲法を手放してはならない。九条の理念は、キリスト教の絶対平和主義とも同じ。

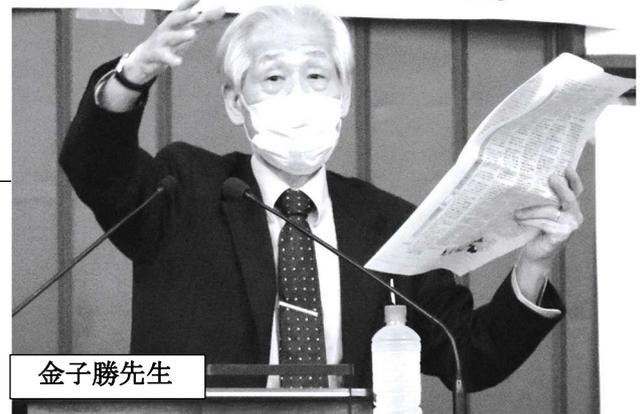
“憲法の語り部”になる！と力強いお話でした。金子先生には、今回代田九条の会での5回目の講演でした。手書きのレジメ、資料もたくさん用意していただき、わかりやすい、希望あるお話でした。ありがとうございました。

尚、休憩時間には、真藤さんの尺八の演奏がありました。イマジンなど古典の平和の曲が印象に残りました。

(代田4丁目・萱野 幸子)

九条のうた合唱団

2023.11.3



アンケートより

3. 今日のつどい全体について、ご感想・ご意見など:

- ・15年の活動に心から敬意を表します。
誰もが参加しやすい工夫をされていてよかったです
- ・大変良かったと思います
- ・参加者をもう少し増やしたい
- ・久しぶりに静かな教会で「生活」を考えることができました

4. 九条の会のとりにくみについて、ご希望やご提案など:

- ・地球上から戦争をなくしたい
国連の弱体化が心配です
- ・マンネリ化を自分自身の問題として解決方法を
考えていきたいと思いました

5. その他 (何でも結構です)

- ・尺八の力強さ、精神性を感じた
- ・牧師さんが、最初から最後まで参加され、感謝です
- ・二人の兄が戦死しています。年を取ってきたからか、
年々胸が痛みます

6. 今日のつどいをどこで知りましたか?

- ・会ニュース ・合唱団



九条の会



ナザレン教会・坂本誠牧師

写真：小澤満吉さん撮影

健康保険証はそのまま、これからも使えるようにしよう

マイナンバー法は第二次安倍晋三内閣が、経団連の求めに応じて、民主党政権で、国会に提出し廃案になった同法を、作り直し 13 年に成立させました。「個人の所得のみならず資産も把握して、医療費・介護費の自己負担割合に差をつけ、結果的に医療・介護費用の削減につなげる」あわせて、法人税率の引き下げを求めた財界の意向で、「ビッグビジネスのチャンス」として、預貯金などの、庶民の資産の情報と紐づいた仕組みを求めています。

関連事業で巨額発注を受けた大企業としては、たとえば、マイナンバーカード・電子証明書の海外継続利用等に関するシステムの設計・開発に関わる業務などという新規事業を進められる恩恵を得るわけですが、2013 年から 21 年の 9 年間に、自民党の政治資金団体「国民政治協会」に 7 億円の献金をしていたことがわかりました。

日本の健康保険システムは安全で便利な使いやすいもので、マイナンバーへの紐づけはお断りです。町医者が無くなるように、守っていきたいです。
(代田 1 丁目・岩瀬 薫)

資料：東京新聞 2023 年 7 月 11 日付電子版の記事より
「マイナンバーカード+保険証」一体化は G7 で日本だけ
なぜ独自路線？各国の現状と比べてみた」

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/262212>

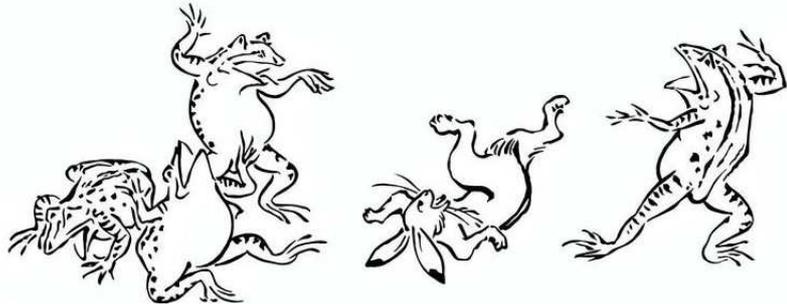
ナチス負の歴史が一因、ドイツは番号共通化せず

フランスは「デジタル保険証」身分証との統合は議論中

イギリスは政権交代で廃止、アメリカは民間企業が ID 提供

目指すのは「シンガポール並みのデジタル化」？押し付けに懸念

「G7 諸国には、共通番号そのものへの批判や、国が国民に ID を与え、管理することへの抵抗感からマイナカードのような制度は存在しない。保険証廃止によって事実上、義務化を目指す日本は異端に映る。」



日本国憲法 (抜粋)

前文 日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。

代表を選ぶ選挙は大事ですネ

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第 9 条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++